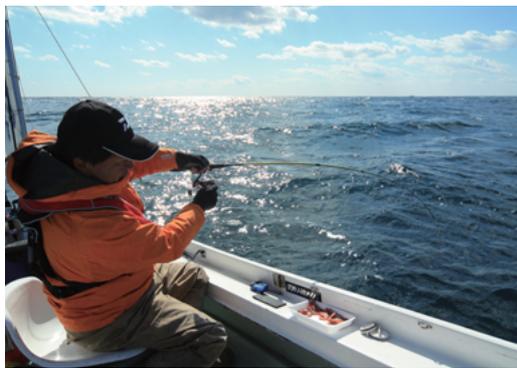




サンマのような細い体形のマサバが釣れた。ときどきボートの下を通過する魚群反応の正体は、コイツだったのだ



やや強い引き込みは慎重にやり取りしたが、期待に反して上がってきたのは……

ヒラメをねらっているんだけどね」とのこと。

本当はもう少し沖合の水深40メートル付近まで行きたかったが、不慣れな海域なので、ほかのボートと一緒に浮かんでいたほうが安心。「近くで釣ってもいいですか？」と声をかけ、そこでサオを出すことにした。



### 一つテンヤで高級魚五目ねらい

今回は、多彩な魚を釣るのに効

果を発揮する、一つテンヤ釣法で茨城の海に挑むことにした。この釣法では、シーアンカーを使って潮流にボートを同調させる流し釣りのほうが、軽いテンヤでも底ダチが取りやすく好都合。ところが、付近の海域では岩礁地帯(根)が小さく、ピンポイントの根を外れるとまったくアタリがなくなってしまう懸念があった。そこで、小まめな潮回りが可能となる、スパンカーを使ったエンジン流しでアプローチすることにした。

しかしながら当日は、風向が定

### 今回の使用タックル



一つテンヤ用のスピニングタックルは、浅場でのチョイ投げ用としても使え、汎用性がとても高い



一つテンヤ釣法にて使用する冷凍エビ。最近では種類も増え、入手しやすくなったのでとてもうれし

[サオ]  
DAIWA  
極鋭MCゲーム240  
フィールダー・  
テンヤマダイ210

[ミチイト]  
DAIWA  
棚センサーテンヤ真鯛  
PE0.6号 200m

FGノット

[サキイト]  
フロカーボン2.5号 5m

[テンヤ]  
DAIWA  
快適タイテンヤ 4~8号

[リール]  
DAIWA  
セルテート2500

まらないばかりか、風力も短周期で変化するので、ラインを立てた釣りが難しく、根掛かりが頻発した。ラインを立てようと細かくクラッチのオンオフを繰り返す私を尻目に、イトー記者がなにやら魚を掛けた。本来はカメラを持つはずの彼が、私よりも先に魚を掛けた悔しさもあったが、海況悪化によっては貴重な1尾となる可能性もあった

ので、魚と対峙する彼のやり取りを見守り、悔しく感じつつも私がタモを差し出した。25センチほどのソイが釣れ上がったが、次は自分が釣る番だ！と、私は即、釣りを再開。獲物を持つイトー記者の姿をカメラに収めなかった。別に悔しいからではなく、実釣時間もつたいなかったからです、ハイ……。



往生際が悪く、浅場で釣りを再開した。出航場所の波打ち際が大荒れになっていることに気づかず、釣りを続けてしまっていた

冷凍エビをつつくような小さなアタリが届くと思ったり、正体はヘラだった



その後、二人でカサゴやサバなどを釣り上げたが、風が一段と強まったので、正味1時間ほどで、後ろ髪を引かれながらも引き返すことにした。

荒れ始めた海を、陸地をめざして航行する我々を見守るかのようになり、2頭のイルカがボートの周りを伴走してくれた。なんだかとてもうれしく、安心する気持ちになっ



最後に浅場でアオイソメを使ってみたものの、不発に終わった

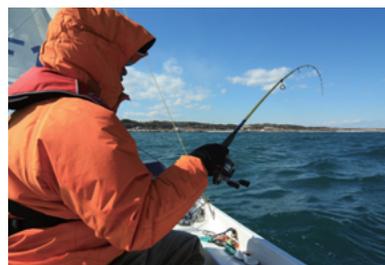
さあ着岸だ！と、出航場所に到着すると、波打ち際の波が大きく、とても上陸できるような状況ではなかった。困った、なんとかしないと……。風はどんどん強まってく



### 憂鬱な気分を 吹き飛ばしたのは

だが、こんなすばらしい決定的瞬間をカメラに収めないイトー記者、君はいったい、なんのために乗っている？ まあ、波しぶきでカメラを壊したくないという気持ちもわからなくはないのだが……。

なにやら手こたえがあったが、魚だったのか？ 根掛かりだったのか？ 永遠の謎である



るし、ますます危険な状況になってきている。

そこで急ぎよ、近くの磯崎漁港へ逃げ込むことにした。スロープ付近で漁船を整備している漁業者がいたので、事情を説明したら、スロープからの上陸を快諾してくれ、ホッとした。たとえ実釣時間が短くなっても、たとえ貧果に終わっても、不慣れた海域だったことを考慮したら、もっと早く沖上がりするべきだった、と反省しきり。

あと片づけのあと、荒れ狂う海を眺めながら昼食を食べたが、ひとつ間違えたら、この食欲も満たされなかったと思うと、ぞっとした。

実釣面での不完全燃焼と、海況悪化を読み誤った自己嫌悪により、



ウツカリカサゴ2尾にソイ1尾、という寂しい釣果に終わったが、安全を優先したので仕方がない

貧果、そして天候判断の甘さを反省し、憂鬱な気分までカートップ作業。こんなときは、なぜかいつもよりずっと重く感じる



事情を説明して磯崎漁港のスロープを使わせていただいた。とはいえず潮だったので、引き上げ距離が長くて大変だった



海況悪化により、急ぎよ磯崎漁港に逃げ込んだ。近くに漁港がなかったら大変なことになっていた……反省